

Disability and physical activity of women in late pregnancy with physiological lower extremity oedema in Vietnam: A cross sectional and correlational study

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2020-09-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00059261

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



令和元年8月21日

博士論文審査結果報告書

報告番号

学籍番号 1629022023

氏名 Do Thi Lan Anh

論文審査員

主査(職名) 毎田 佳子 (教授)



副査(職名) 須釜 淳子 (教授)



副査(職名) 大桑 麻由美 (教授)



論文題名 Disability and physical activity of women in late pregnancy with physiological lower extremity oedema in Vietnam: A cross-sectional and correlational study

ベトナムにおける下肢浮腫を有する妊娠後期妊婦の生活機能障害と身体活動: 横断的相関研究
論文審査結果

【論文内容の要旨】

妊婦の下肢浮腫は正常の妊娠過程においてもみられる症状であり、妊娠後期になると保有率も高くなる。下肢浮腫保有の関連要因を調査し、下肢浮腫の重症度と生活機能障害と身体活動状態の関連を明らかにすることを目的とした。方法は横断的相関研究。ベトナムハイフォン産科病院にて妊娠38-42週に分娩した健康な妊産婦300名。浮腫は3か所(足背、内果、脛骨部)をグレード0-3で評価し、浮腫のスコア化を行った。浮腫ありは合計スコア2点以上とした。生活機能障害はWHODAS (World Health Organization Disability Assessment Schedule) 2.0で評価、身体活動はPPAQ (Pregnancy Physical Activity Questionnaire) を用いた。分析は、下肢浮腫保有の関連要因は、多変量解析によりオッズ比 (OR) を算出し、下肢浮腫の有無と生活機能障害及び身体活動との関連をスピアマン相関係数により算出し求めた。結果: 下肢浮腫の関連要因として出産歴 (OR, 2.18; 95%CI, 1.18-4.03 p=0.01), 妊娠中の体重増加 (OR, 1.19; 95%CI, 1.1-1.29, p<0.01), 胎児の体重 (OR, 1.002; 95%CI, 1.000-1.005, p=0.05) があげられた。浮腫あり群のWHODASスコア (総点, 可動性, 社会への参加, セルフケア) は浮腫なし群より有意に高く, PPAQスコアは有意差がなかった。浮腫あり群のWHODASスコア (総点) とPPAQスコア (運動, 中等度の活動) ($r=-0.3, -0.28$), WHODASスコア (可動性) とPPAQスコア (運動, 中等度の活動) ($r=-0.28, -0.32$), WHODASスコア (生活活動) とPPAQスコア (運動) ($r=-0.21$), WHODASスコア (セルフケア) とPPAQスコア (中等度の活動) ($r=-0.23$) には弱い負の相関があった。

【審査結果の要旨】

妊娠後期の下肢浮腫に着目し、浮腫の有無やその重症度と生活機能障害との関連を示した。また、下肢浮腫とセルフケア行動の実施との関連があったことから、今後のベトナムにおける妊婦の生活指導に生かす可能性を示した。質疑応答では、研究の分析プロセスや結果解釈・適用および今後の研究プランについて十分に応答した。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士(保健学)の学位を授与するに値すると評価する。